

春採湖を見渡す窓があるレストランスペース。窓際に、景色を堪能できるカウンターを設けた (いずれも小松巧撮影)



### レストランから春採湖の絶景

## 六花亭跡 ホテル 来月末開業

ANAクラウンプラザホテル釧路(釧路市錦町3)を運営する不動産業「HIE」(東京)は、市内春採3の六花亭春採店跡で整備を進めていた宿泊施設について、「Hotel de H(ホテル・ド・アッシュ)」として5月末に開業することを決めた。窓から春採湖を見渡す絶景が売りで、市民らも利用できるレストランを併設する。

旧六花亭春採店は、春採湖全景や水平線に沈む夕日を望む絶景と、古城風のシックな店舗が人気

だった。1997年に釧路市都市景観賞を受賞した。

新ホテルは、同店建物を活用し、鉄筋コンクリート造4階建て、延べ約千平方メートル。内部は全面改修し、1〜4階に客室計9室(ツイン7室、スイート2室)を整備した。そのうちツイン5室は窓から湖を展望でき、スイートルーム1室は窓と浴室内テラスから、湖が見える。

宿泊料(1泊)はツインが2万5千円からで、スイート(ベッド2〜4



台)は20万円から。3階は、一般客も利用できるレストランとベーカーリー。レストランでは、和洋食と中華料理を提供し、湖を眺めながら食事ができるカウンターを窓

際に備えた。庭園には、新たにサクラやモミジ、ラベンダーなどを植栽し、野鳥や植物を観察できるようベンチを置く。

HIEの広瀬弘忠会長は「観光客や市民が、湖を眺めながらくつろげる空間とし、春採湖周辺の自然を、改めて釧路の観光資源として売り込みたい」と話す。

宿泊予約は5月20日から受け付け予定で、詳細を案内する公式ホームページを近日公開する。

(佐竹直子)